

平成27年度八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 社会（1/1 枚目）

発行者名	東京書籍	教育出版	光村図書出版	日本文教出版
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対する配慮されているか。 (3)各学年にわたる内容の取扱いに対して配慮しているか。 (4)児童の意欲、関心を引き出す配慮があるか。 (5)児童の習熟の程度に応じた発展的な学習内容の取扱いが適切であるか。</p>	<p>(1)全ての小単元に学習問題に立ち返った「まとめる」場面を提示し、特に押さえたいキーワードを「ことば」として載せている。 (2)3・4年生では大きなイラストを、下巻の最後には「5年生に向けて」として高学年への接続を、「中学校に向けて」として中学校への接続を意識した見開きページがある。 (3)東日本大震災については、5年生情報で地図・写真、現地の人の話を盛り込み、詳しく記述している。 (4)ドラえもんキャラクターが復活して、子どもたちにとって大切な視点をより親しみやすく認識できる。 (5)5年生日本の領土では、2ページに渡って北方領土、尖閣諸島、竹島を地図で領土の範囲と位置を明記し、不法に占領されたりその領有を主張したりしていることを記述している。歴史学習の最後に、韓国の竹島の不法占拠と中国の尖閣諸島の領有の主張の事柄に触れている。</p>	<p>(1)学習の中で大切な言葉を「キーワード」として明示している。分かったことや考えたことを自分の言葉で表現する「まとめる」のページがある。穴埋めや短文での表現など多様である。 (2)3・4年生は大きなイラストを使っている。基礎・基本についてガイドする「わくわく！社会科ガイド」という特設ページがある。6年生には、中学校で学んでいきたいことを宣言文でまとめる活動を例示している。 (3)社会の減災化、災害からの復旧・復興について、自分の問題として考えることのできる内容構成にしている。 (4)児童に親しみやすい男女の子供と指導役のふくろう博士のキャラクターを活用して学習の進め方を例示している。 (5)5年生日本の領土では4ページに渡った記述がある。衛星写真での国土と領土の境が表記され、後半の2ページは北方領土・尖閣諸島・竹島の周辺の様子が表記されている。6年生歴史学習の最後に、未解決の北方領土や他の領土の不法占拠の事柄に触れている。6年生国際理解では中国の事例の中に「尖閣諸島をめぐる課題」のコラムがある。韓国の事例の中に竹島の不法占拠の記述もある。</p>	<p>(1)重要語句と学習方法を「ことば」「たいせつ」として鉛筆マークで欄外に示してある。 (2)3・4年生は「調べに行く」「人に聞く」「話し合う」などの実践的な取り組み活動が多く、関心を引きだすものになっている。身近な地域の学習では、観察後地図作りでまとめる活動を丁寧に展開している。 (3)すべての学年で防災教育の内容が配置されている。自然災害の事例が多い。 (4)学習を広げ深める「博士」と比較関連付けを示唆する「鳥」のキャラクターを使い分けている。 (5)5年生日本の領土では、2ページに渡って地図と文章で記述がある。ロシア・中国・韓国の態度が書かれている。6年生歴史では現在につながるページにも同じ内容が書いてある。</p>	<p>(1)その単元を学ぶ上で不可欠な社会科用語を「キーワード」として囲みで示している。 (2)3・4年生(下)の巻頭に地図帳を使いながら楽しく学ぶ展開を工夫している。 (3)5年生環境で阪神・淡路大震災と東日本大震災を事例にして、防災・減災に関する取り組みや防災のための情報の働きを取りあげている。 (4)4人の男女のキャラクターを通して問題点や予想、まとめなどを表現している。 (5)5年生日本の国土では、2ページに渡って地図と文章で記述がある。領土をめぐるロシア、中国、韓国の主張が書かれている。6年生歴史では南京事件にかかわる事実が不明確であることが欄外に書かれている。</p>
<p>2 構成及び分量 (1)内容は全体として系統的・発展的に構成されているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。 (3)教科の特質に即した主要教材において基礎的事項をおさえ、補充教材並びに発展教材等の取扱いに対して配慮しているか。</p>	<p>(1)6年生歴史学習では、見開きページごとに学習の見通しがもてるように工夫しており、児童の主体的な学習が展開できる。5年生情報では医療を中心に取り上げているが、教育・福祉・防災も2ページずつ取り上げているので、事例選択ができる工夫がされている。 (2)資源の有効利用、人権・共生について取り上げている内容が多い。 (3)基礎的な内容が充実している。柔軟な扱いの指導「ひろげる」を各学年で充実させている。</p>	<p>(1)算数(表やグラフ)や道徳など社会科以外での活用も視野にいれている。持続可能な社会の視点で6年生政治や国際理解に内容が盛り込まれている。それぞれの学年に「せんとく」「もっと知りたい」として事例選択や発展教材の工夫がされている。 (2)伝統文化の継承や我が国の位置と領土について取り上げている内容が多い。 (3)意欲や関心をさらに広く深く学習する「もっと知りたい」コーナーを作っている。見開き部分に日本全国(地形図)を大きく据え、雪害・暴風雪・地震・噴火・竜巻・台風による水害の写真やレイアウトし、プレートや火山との関係を考えられるようにしている。</p>	<p>(1)既習事項との比較・関連付けを示唆する吹き出しがあり、学習の積み上げの配慮がある。全ての学年に防災意識を高める扱いがある。 (2)地域の発展に尽くした先人、世界平和について取り上げている内容が多い。 (3)「まとめる・広げる」では、マップ・新聞・すごろく・紙芝居・カルタ・パンフレット・ゲストティーチャー・料理体験・ルール作り・スピーチなど、多岐に渡った活動の例示が工夫されている。</p>	<p>(1)防災・安全教育に関する教材を4・5・6年生に配置している。 (2)環境保全と自然災害の防止、法やきまりを取り上げている内容が多い。細かな内容まで網羅し情報量が多く、資料集的な活用ができる。特に3・4年生の分量が多い。 (3)「大きくジャンプ」で、多様な事例を提示し、調べたり話し合ったりする発展的な活動を例示している。</p>
<p>3 表記及び表現 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1)本文と資料ははっきりと区別ができるようにしている。枠囲みは読みやすく改行されている。 (2)資料には番号がついてある。図表やグラフ、マークなどは色だけでなく、模様や形などでも認識できるようになっている。</p>	<p>(1)「教科書の使い方」ページを設け、活用の仕方を示している。読みやすさを考慮した改行がされている。 (2)記号がついた写真や絵などの資料が充実している。紙面を効果的に活用して、様々な写真、絵、グラフなどを掲載している。濃いめの色を多く使い、色の差をはっきりさせている。</p>	<p>(1)6年生歴史では単元の始まるの図や写真が大きく載せている。高学年は文章量が多い。3・4年生は文書より吹き出しや言葉による短い表現が多い。 (2)各単元の導入にイメージ的な写真と資料を使っている。写真やイラストは視覚的に色合いが強い。</p>	<p>(1)説明の文章の表現が多く詳しい。 (2)図や写真などの資料の使い方は、意図的かつ効果的に配置されている。「見つける」段階では、学習問題へ向かうためのポイントとなる資料を大きく載せている。濃いめの色を多く使い、色の差をはっきりして見やすい。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)全体の構成が見通せるように配慮しているか。 (2)課題発見、課題解決に向けた学習が効果的に進められるように配慮しているか。 (3)印刷・装丁に対して配慮しているか。 (4)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1)5年生上巻・下巻が同じ厚さ。上巻は国土・食糧生産、下巻は工業・情報・環境を掲載している。 (2)問題解決的な学習の進め方を意識した資料を載せている。「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習過程が明示されている。 (3)ユニバーサルデザイン書体を使っている。再生紙、植物油インキを使っている。 (4)近隣の地区としては、5年生工業単元で大田区、情報単元で港区を取り上げている。5年生国土単元で八王子市南大沢地区の航空写真が載っている。</p>	<p>(1)5年生上巻は厚く・下巻は薄い。上巻は国土・食糧生産・工業、下巻は情報・環境を掲載している。 (2)「つかむ」「調べる」「まとめる・深める」という問題解決的な学習の進め方を例示している。「まとめる」では、単元の学習問題と各時間の問いかげが明示されている。 (3)印刷にグリーン電力、再生紙、植物油インキを使い、配色にCUDOの認証を受け、カラーユニバーサルデザインに配慮して作られている。 (4)近隣の地区として6年生戦争の遺跡の事例として葛飾区・府中市・東大和市の写真に掲載している。租税教育の事例として八王子市での授業の写真と文章が載っている。</p>	<p>(1)5・6年生は学習内容を比較したり関連付けたりできるように1巻構成になっているので、既習事項と関連させながら学習が進められる。 (2)ホップ(見つける)・ステップ(調べる・話し合う)・ジャンプ(まとめる・広げる)と学習の流れを明示し、単元の学習の流れの理解を促している。 (3)カラーユニバーサルデザインを使っている。環境に配慮した紙、植物油インキを使っている。 (4)事例地は全体を通して神奈川県が多い。</p>	<p>(1)5年生上巻・下巻が同じ厚さ。上巻は国土・食糧生産、下巻は工業・情報・環境を掲載している。 (2)「私の問題」「私の見方・考え方」「みんなで話し合いたいこと」「ふりかえてみよう」「大きくジャンプ」として学習の流れを工夫し、まとめの要点も書かれている。 (3)カラーユニバーサルデザインに配慮している。グラフ・地図については、色調や色の組み合わせ、斜線、ドットなどを使用し色覚の違いに配慮している。 (4)事例地は関西が多い。</p>
<p>5 総合所見 (1)教科の指導及び児童の学習活動の視点から総合的にみてどうか。 (2)現在八王子市で使用している教科用図書と比べてどうか。</p>	<p>(1)「まとめる」過程での思考力、判断力、表現力を育成するつくりは、授業を進める上で有効である。社会参画と防災、キャリア教育、エネルギーなどの今日的課題を積極的に提示し有効である。 (2)ドラえもんキャラクターの復活により、現行のものよりさらに児童に学習内容が親しみやすくなった。</p>	<p>(1)問題解決的な学習に特化した構成は、授業を進める上で、児童に分かりやすく授業を進めていける。基礎的・基本的な内容や技能の習得とともに、思考力・表現力も育むようになっていく。有効である。資料も豊富であり、児童の自主学習にも活用できる。 (2)社会科が得意でない教員や若手教員にも使いやすい。</p>	<p>(1)学習の問いや発見・考えは一人一人のものという教科書である。児童の興味関心を広げたり、発展的な学習活動を展開したりしている。話し合い活動を中心に言語活動を特に重視している。 (2)現行のもの比べて能力の習熟の程度の高い児童に適している。</p>	<p>(1)全体的に文章や資料が豊富である。問題解決的な学習の進め方を伝えやすい。 (2)現行のもの比べて、知的好奇心が高く学習意欲が旺盛な児童に理解しやすい。</p>